

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

| | | | | | |
|------|------|---|---------------------|----------|-------|
| 施策体系 | 政 策 | 2 | 美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち | 担当部局(室)名 | 部局長名 |
| | 基本施策 | 3 | 安全で安心なまちづくり | | |
| | 施 策 | 2 | 防犯・交通安全 | 危機管理室 | 田中 克広 |

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 地域ぐるみで健全な生活環境の形成や防犯活動に取り組みます。
- 時代の流れに合った消費者生活に関する啓発、関係部署等との連携を活用した相談体制の充実に取り組みます。
- 人命尊重と市民生活における安全の確保を基本とした快適な交通環境を整備するとともに、市民の交通安全に対する意識の向上を図ります。
- 通学路の安全確保のため、名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検による要対策箇所に対して、安全施設等の整備を進めます。

2. 令和2年度の取組内容及びその成果



- ・名張市生活安全推進協議会防犯部会を中心に、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ可能な範囲で、各地域の防犯組織と連携した地域内における巡回や子どもの見守りなどの防犯活動を行うなど、安心で安全なまちづくりを推進するとともに、防犯意識の高揚を図りました。
- ・専門性を要する相談は即時適切な相談機関と連携することに努め、弁護士相談等の主催相談事業はワンストップで予約受付しました。また、相談内容の複雑化等に対応するため、相談員2名体制で消費生活相談を行いました。
 専門相談…315件(弁護士相談、交通事故相談、行政相談、司法書士相談、行政書士相談等)
 消費生活相談員等相談受付件数…558件(窓口…131件、電話…416件、多重債務紹介状…11件)
- ・地域づくり組織、名張市消費生活協議会等からなる消費者被害ネットワークプロジェクト(参画団体17団体、推進チーム4部署)に情報発信を行いました。
 緊急広報件数…6回
- ・名張市生活安全推進協議会交通安全部会委員を対象とした交通安全研修を実施し、交通安全指導者の育成を図るとともに、当該委員による学校登校時等における街頭指導活動、交通安全見守り活動を実施しました。
- ・地域等からの交通安全施設の整備に関する要望を警察や道路管理者などの関係機関と連携しながら対処しました。
- ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を教育委員会が主体となり、関係機関と連携しながら各小中学校区ごとに実施し、要対策箇所の確認、整備方針を整理し、優先順位により整備しました。
- ・年末に酒類を提供する飲食店に協力を要請するなど、飲酒運転根絶に向けた啓発活動を実施しました。
- ・四季の交通安全運動における啓発活動は、コロナ禍により、感染拡大の防止のため、大人数が集まる出動式や対面での啓発活動の実施を見合わせ、通学路における交通安全見守り活動や、啓発車両による巡回啓発、商業施設における事故写真パネルの展示などに切り替え実施しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



| 施策指標(目標)の内容(単位) | | 基準値 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 進捗率 |
|-------------------------|----|-------|-------|------|------|------|-------|------|
| | | (H29) | (H30) | (R1) | (R2) | (R3) | (R4) | |
| 犯罪に対して不安感を持っている市民の割合(%) | 目標 | - | - | - | - | - | 46.0 | 1.4% |
| | 成果 | 53.4 | 58.3 | 52.4 | 53.3 | | | |
| 交通安全啓発活動等への参加人数(人) | 目標 | - | - | - | - | - | 1,020 | 0.0% |
| | 成果 | 1,010 | 970 | 900 | 75 | | | |

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・防犯活動の成果により、名張市における凶悪犯罪の認知件数は極めて低く、刑法犯罪全体での認知件数も横ばい状態となっていますが、全国では多くの刑法犯罪が発生していることから、多くの住民が犯罪に対しての不安感を持っている状況となっています。
- ・相談件数は窓口での相談が減り電話相談が増えました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響とと思われます。
- ・交通安全啓発運動を継続して実施しており、令和元年に比して令和2年は、市内における事故件数は大きく減少し、また、交通事故死者数は、0となりました。
- ・通学路における交通安全施設の補修・修繕箇所を確認し、通学路の安全確保を図るロードマップは整理されていますが、これらのすべてを対処することは予算的にも困難であることから、優先度により整備する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和3年度以降)



- ・各地域の防犯組織や警察など関係機関との連携をより強化しながら、地域ぐるみでの「ながら活動」による児童、生徒の見守りを行うなど、更なる防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりに努めます。
- ・市内外の相談機関の把握とともに、連携を強化し、迅速に適切な相談窓口へ案内をして、早期に相談者が相談を受けられるよう支援します。
- ・各種消費者相談が後を絶たないため、引き続き市民の消費相談に対応する体制強化に努めます。また、消費者被害防止ネットワークプロジェクトの活用により、名張市消費生活協議会をはじめとする関係団体、行政機関と連携し、市民との協働を深め円滑かつ効率的に事業を進めます。
- ・引き続き、啓発活動等の実施により市民一人一人の交通安全意識を高めるとともに、運転免許返納制度の周知など高齢運転者による事故の減少に努めます。
- ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく関係機関との合同点検の実施及び合同点検による要整備箇所をその優先度の高いものから着実に実施します。また、地域からの交通安全施設要望についても関係機関と連携し対処します。
- ・条例の周知を引き続き行うとともに、警察など関係機関と連携し、交通安全運動などを通じて飲酒運転の根絶に取り組むこととします。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

| 会計 | 事務事業名 | 担当部局名 | 担当室名 | 令和2年度内容 | R2決算見込 | | R3予算 | |
|----|---------------------------------|-------|-------|---|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | 決算額 | うち一般財源 | 予算額 | うち一般財源 |
| 一般 | 地方消費者行政推進事業 | 市民部 | 市民相談室 | 消費生活相談員2名を配置し、地域社会における消費者問題の未然防止・解決力の強化に取り組みました。 (令和2年度実績) ・窓口相談 131件 ・電話相談 416件 ・多重債務相談 11件 ・消費者被害ネットワークプロジェクトによる啓発 参画団体 17団体 情報提供啓発件数 6件 ・出前講座で消費者トラブル啓発 4回 ・市民相談窓口、情報発信コーナーでの啓発パンフレットの配布による啓発 | 5,988 | 5,272 | 7,323 | 6,608 |
| 一般 | 交通安全施設整備事業 | 都市整備部 | 維持管理室 | 安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備しました。 (令和2年度実績) ・道路反射鏡(設置 12基、補修 6基) ・区画線 補修 2,701m ・その他補修は随時 | 5,986 | 5,986 | 6,000 | 6,000 |
| 一般 | 社会資本整備総合交付金事業(交通安全施設整備)(道路河川室分) | 都市整備部 | 道路河川室 | 通学児童の安全で快適な通行を確保するために通学道路を整備しました。 (令和元年度繰越分) ・路側整備工事(1路線) (令和2年度実績) ・歩道整備、路側整備工事 2路線 ・委託(測量設計1路線) | 49,667 | 514 | 103,587 | 96 |
| 一般 | 社会資本整備総合交付金事業(交通安全施設整備)(維持管理室分) | 都市整備部 | 維持管理室 | 国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存歩道の利便性・安全性向上を図るため、計画的に歩道整備を実施しました。 (令和2年度実績) ・歩道整備(桔梗が丘61号線) 377m | 30,914 | 3,837 | 49,020 | 20 |